

## 校長つうしん No.24



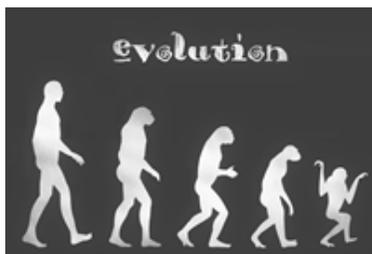
2017.8.29

鈴木 恵一



期末考査も終了し、気分的にはひと段落といったところでしょうか。でも、あくまでも通過地点。テストのために勉強しているわけでないことは分かっているけれど、考査前になってあわてて勉強し出す……とても効率が悪く、付け焼き刃の勉強は何も残りません。得意なものを伸ばしつつ、不得意なことにも地道に取り組んでいくよう努力しましょう。今回はあまり学校生活に関係ない話題を載せます。

## 人類はどこへ向かう？



6月頃のニュースの記事を掘り起こしての話題提供です。

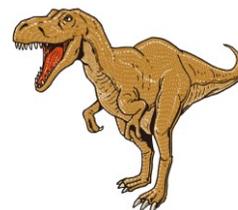
ホモ・サピエンスは約 20 万年前にアフリカ東部に現れたというのが

通説つうせつでしたが、英科学誌『ネイチャー』に掲載された論文によると、これを覆くつがえす画期的な化石すがいこつ(頭蓋骨)がモロッコで見つかり、人類の

起源きげんが定説より 10 万年早まったとのこと。現生人類ホモ・サピエンスは、30 万年前にアフリカに生息し、現代の人々とそう変わらない顔つきをしていたという内容も発表されました。

<http://www.afpbb.com/articles/-/3131217?pid=19085750>

これが考古学の面白いところで、ほぼ定説となっていることが、ほんの小さな発見によってひっくり返るのです。考古学こうこがくだけでは解明できないこともあります。過去の歴史(人類の進化、政治、経済、文化、風俗等)を知り、現代と対比し、解釈かいしゃくし、未来へつなげるうえで意義ある学問です。もしかすると、まだ見つからない貴重な遺産いさんがこの地球に眠っているのかもしれません。



今は地球以外の他の惑星わくせいを研究することを通じて地球の起源を探ろうとして、科学技術はどんどん進化しています。人間の興味・関心、想像力、そして探究心と知恵たんきゅうは、宇宙の膨張ぼうちようをはるかに超える無限の可能性を秘めているのではないかと、ふとそんなことを考えたりもします。

## ◆ 『シンギュラリティは近い』 レイ・カーツワイル著

最初に表紙を見たとき、人類がAI（人工知能）に支配されるSF小説かと・・・

IT分野で使用頻度が高まった「技術的特異点（Technological Singularity）」という言葉は、もともと数学や物理で用いられている「特異性・特異点」という言葉からきています。一般性が失われて特異性が現れる時（点）という意味です。Technological Singularity といった場合、「AIが人間の知能より賢くなる時（点）」という意味になります。これは30年後の社会がどうなっているかという話です。



AIの進化の先にあるシンギュラリティ(特異点)は、これまでとは明らかに質的に異なります。それは、人工知能( Artificial Intelligence )が人間より賢くなり、これまでよりも遙かに正確・適切に選択・判断ができ、しかも高速に処理できるということです。

AIは2030年頃には人間と同等の複雑な知能に達し、2045年あたりには人知を越えるであろうと予測されています(2045年問題の提起)。そして、AIのプログラムはAI自身がつくり改良し増殖していくのです。人間の手を離れて自己進化を遂げていくわけです。



世界初の電子式汎用コンピュータと言われている ENIAC (Electronic Numerical Integrator and Computer)は1946年に登場し、それから約70年の時を経て現在のコンピュータがあるわけです。一般に普及しているパーソナルコンピュータ、タブレット、スマートフォンまでその技術は進化し続けていますが、やがてこれらのものが人間の知能を超えていく・・・なんだかSFっぽい話だなと思いつつも、未来予測の精度にそう大きな狂いは生じないだろうと言われているので、そうした社会は間違いなく到来するのでしょうか。

生産や流通の形態が大きく変わり、それに伴って労働の形態や質も変わっていくことでしょう。それに備えて、人間はどうあるべきなのかということが問われています。

人間の人間としての価値はどこにあるのか？人間とコンピュータの決定的な違いは、私たちに喜怒哀楽という感情があり、愛があり、常に未来に希望を持ちながら生きているということでしょう。現在の高校生は20年後、30年後は働き盛りの世代となっています。人としての生き方、あり方はどう変化しているのでしょうか。若いあなたの今の生き方、学び方が深く関わってくることは間違いありません。キャリア教育に力を入れている大通高校です。生徒のみなさんには、深い思考、深い学びを体験しながら未来を考えてほしい、そう思います。